

「年賀状を絵手紙で送みましょう」

を開催しました



平成24年12月4日、5日の2回、日新コミュニティセンターなどでもご活躍中の栗田 真弓さんを講師にお迎えしました。

受講者のほとんどが初心者でしたが、初めての人、描いたことがないという人にこそ描いてほしい！と笑顔の栗田さん。

絵手紙に決まりはありません。上手に描かないでください。でも、雑には描かないでください。墨で描く段階で、全部を描き上げるように、実物をよく見て、丁寧に、ゆっくりと。絵は、汚れている所、きたない所、破れている所を描きましょう。
画仙紙からはみ出すくらいに大きく描くと、描かれていない部分を、もらった人が想像してくれます。一番最初に描いたものが一



番良いことが多いので、なるべく練習はせずに、ぶっつけ本番で。にじんだ線や墨溜りは全部面白みです。“失敗”はありません。絵手紙の色付けは、顔彩がんさい（日本画などに用いられる絵具）の他に、水彩絵具、クレパス、色鉛筆など、どれを使ってもOK。

栗田さんのやさしい言葉に励まされながら、受講生の皆さんは、思い思いに個性豊かな作品を仕上げていました。